

会議所7月の動き

- 1日(水)・(社)福加治川郷 第3回理事会
- 2日(木)・新発田市にぎわい商品券推進委員会
・新発田市商工観光振興協議会企画調整会議
・新発田自衛隊を支える女性の会総会
- 3日(金)・ベストウィズクラブ平成21年度第1回「共済制度運営委員会」
- 6日(月)・平成21年度信用保証協会連絡所長会議
- 7日(火)・第1回新発田市健康づくり推進協議会
- 8日(水)・経営指導員研修会
- 9日(木)・下越6商工会議所専務理事懇談会(～10日)
- 10日(金)・小規模企業振興委員連絡会議
- 11日(土)・第64回3級販売士検定試験
- 12日(日)・第22回福祉住環境コーディネーター検定試験
- 13日(月)・新発田うまいもの市第3回実行委員会
- 14日(火)・新発田市商工観光振興協議会委員会
・営業マンセミナー
- 15日(水)・日商委員会(～16日)
・経営指導員研修会
- 21日(火)・(社)新潟県商工会議所連合会 札幌・小樽商工会議所先進地研修
- 22日(水)・新潟職能短大産業教育振興協議会役員会・総会
- 23日(木)・第一回労働者派遣事業適正運営協力会議
・トキめき新潟国体新発田市実行委員会第5回総務広報部会
- 24日(金)・一日公庫相談会
・大光銀行新発田支店光友会
・新発田市東部商工連絡協議会総会
- 27日(月)・まつりパレード参加者会議
- 30日(木)・県火災共済第3回理事会
- 31日(金)・花市・城下町新発田まつりに係る臨時露店管理運営委員会及び関係者合同会議
・新発田市市・県道整備促進協議会理事会・総会及び太田川流域河川改修推進協議会理事会・総会の合同開催並びに新発田市道路及び河川整備促進懇談会

流行ものから 見えるもの

懐かしのハイボールが人気上昇

一体に今夜も刺激が欲しい？

「日経流通新聞」で恒例のヒット商品番付。その二〇〇九年上半期版に意外なニューフェースが登場した。

東の横綱は、ハイブリッドカーの「インサイト」と「プリウス」。西の横綱は、「ファストフアッシュン」。次いで、「九百九十九円ジーンズ」「下取りセール」「節約弁当」などのエコや低価格志向の商品がランキングにしているのは、誰しも納得だろうか。

そんな中で東前頭二枚目に推挙されたのが、何と「ハイボール」。年輩の方はよくご存じだろうが、昭和三十年代の庶民文化を象徴する「トリスバー」などで広まったウイスキーのソーダ(炭酸)割りである。最近、サントリーが角瓶のハイボール・キャンペーンを展開した効果もあって、各地の居酒屋やパブなどの定番メニューとして人気急上昇のようだ。その炭酸割りのお酒プー

ムはウイスキーだけではなく。キリンの「氷結ZERO」を筆頭とする缶入りの低アルコール飲料も夏場に向けて絶好調。アサヒ、サントリーなどビール各社の同種の商品群も前年比三六割増を達成しそうな勢いである。

なぜ今、ハイボールなどの炭酸入りアルコール飲料が流行するのか？ なぞを解く三つの鍵がありそうだ。

一つ目は、昨今の昭和レトロ人気に通じる懐古ブームである。盛り場には、そうしたムードを演出する飲食店も増え、往時の定番であるハイボールは欠かせない存在ともなった。

二つ目は、ウイスキーや焼酎(しょうちゅう)を炭酸で割ると口当たりが甘くなり、「苦い飲み物は嫌

い」という人が多い若年層にも抵抗なく飲めることだ。三つ目は、やはり不況と節約志向がありそうだ。例えば、多くの居酒屋でのハイボールの価格は同じように炭酸が入ったビールより数百円は安く、アルコール度数は六八度とビールよりも高い。まさに安く酔うには格好の酒というわけだ。

まとめれば、「格安の消費で酔えて、レトロ気分にも浸れる」とともに「舌に甘さ、のどや身体に強い刺激」を与えて浮世のウサを忘れるにはもってこい、という次第。たかが一杯の酒のグラスの底にも、いまだきの庶民の本音や思惑がほんのりと浮かび上がっているようだ。

NML野村オフィス

代表 野村 正樹